

事業報告

2022年度

2022年4月1日～2023年3月31日

一般財団法人 東方医療振興財団

東京都中央区築地6-4-5-404

2022年度事業報告

一般財団法人東方医療振興財団

2022年度の事業活動を報告いたします。

事業活動区分について

- I. 研修事業 II. 情報収集提供事業 III. 普及啓発事業
IV. 研究開発、及び助成事業 V. 情報発信事業

I. 研修事業

イ) 鍼灸学セミナー ロ) 中医学研修講座 ハ) 次のステップを目指す中医学
研修講座 ニ) 新・中医臨床カンファレンス ホ) 中国医学実践通信講座
ヘ) 医鍼薬地域連携研究会 ト) 中医学オンラインセミナー

イ) 鍼灸学セミナー

2022年度は開催なし。

2022年3月に開催したため、同年での開催見送りのため。

ロ) 中医学研修講座 (協賛 株式会社ツムラ)

第17回 基礎の部 2022年4月～2023年3月

内容：中医学の基本的な考え方、脈診、腹診、舌診、陰陽五行、八綱弁証、
気血津液、臓腑弁証、六経弁証、三焦弁証、中薬学、弁証論治の実際、
経絡学説

開催日時：第2土曜日 18時～20時00分 ※8月12月休講

会場：オンライン（ライブ配信、後日1週間のオンデマンド配信）

担当講師：各月1名で延べ10名

受講者数：延べ326名（医師、漢方医、薬剤師、針灸師、医学生が参加）

公益法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の認定対象セミナーと
して登録（1単位/1講座）。全日本鍼灸学会認定指定講座の認定対象セミナーと
して登録（1単位/1講座）。

8講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な15単位を付与し、修了書を
交付。基礎と臨床各8講座以上の受講者には、35単位付与。

ハ) 次のステップを目指す中医学研修講座 (協賛 クラシエ薬品株式会社)

医師及び医療従事者を対象に、具体的な「臨床例」を通じて生きた中医を身に

つける。

開催日時：第4土曜日 18時～20時00分

2022年4月・6月・7月・10月・11月（年間5回）

会場：オンライン（ライブ配信、後日1週間のオンデマンド配信）

担当講師：第一線で活躍中の中医師及び中医を専門とする医師

受講者数：延べ94名

後援：厚生労働省

公益法人日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象セミナーとして登録（1単位/1講座）。全日本鍼灸学会認定指定講座の認定対象セミナーとして登録（1単位/1講座）。

全5講座で構成し、4講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な15単位を付与し、修了書を交付する。

二）新・中医臨床カンファレンス

開催日時：第4月曜日 20時～1時間程度 ※8月12月休講

会場：オンライン（ライブ配信、後日1週間のオンデマンド配信）

担当講師：長瀬眞彦・高橋博樹・菅沼栄（敬称略）

参加者数：延べ93名

ホ）中国医学実践通信講座

新規申込者5名・修了者1名

中国医学の基礎理論から診断・治療の実践までを独自のカリキュラムで進めている。修了者には修了書を交付した。

ヘ）医鍼薬地域連携研究会

DAPA 症例検討会

医療連携を経験した鍼灸師が症例を報告し医師の目を通じて検討することで症例に対する新しい視点・現代医学的な診断やケアへの助言を得る機会を設けた。

開催日時：毎月第2月曜日 20時～1時間程度 ※8月12月休講

会場：オンライン（ライブ配信）

担当講師：赤羽峰明（敬称略）

ト）中医学オンラインセミナー

■中医学の基礎講座全10講座

受講者数：59名（会員14名、非会員45名）

販売講座数：214講座

■中医学の臨床講座全10講座（現在は9講座まで完成）

受講者数：9名（会員4名、非会員5名）

販売講座数：17講座

Ⅱ. 情報収集提供事業

中国医学学術誌「東方医学」を3回刊行した。

Vol.38No.1 (2022年8月発行)では、臨床経験1題と第39回日本東方医学会の教育講演「東洋医学の謎を解く新たな臓器『ファシア』」を掲載した。Vol.38 No.2 (2022年11月発行)では、原著1題と、第39回日本東方医学会の一般口演6題とランチョンセミナー「アマゾン熱帯雨林の民間医 シャーマンの伝統療法」を掲載した。Vol.38 No.3 (2023年3月発行)では、第40回日本東方医学会の会頭講演「心あたたかで人間的な東方医学」と、シンポジウム「医師・鍼灸師連携の発展と課題」を掲載した。

Ⅲ. 普及啓発事業 継続事業—公益目的支出計画実施事業

第40回日本東方医学会

厚生労働省、日本医師会後援

開催日：2022年12月4日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター（御茶ノ水）

会頭：長瀬眞彦先生

メインテーマ：心あたたかで人間的な東方医学

会頭講演「心あたたかで人間的な東方医学」

教育講演「東方医学への期待 —公衆衛生学的視点から—」

シンポジウム「医師・鍼灸師連携の発展と課題」

ランチョンセミナー「信頼される漢方生薬の供給を目指すオースギの品質及び製造管理」

一般口演 9演題

参加者数：121名

Ⅳ. 研究開発、及び助成事業

東方医学に基づく研究及び助成の活動

イ) 花粉症のためのお茶「快び」販売について再検討。

Ⅴ. 情報発信事業

イ) 本財団と東方医学会のホームページの更新作業。

・学術大会、各種セミナー情報の発信と参加申込み

ロ) フェイスブックサイトの製作、及び運用。

以上